

学校関係者評価委員会からの提言

児童	学習・授業について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1	学ぶことが楽しい。	80%	78%	-2%	17%	16%	-1%	3%	6%	3%
	2	先生は、課題（めあて）について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。	89%	95%	6%	7%	4%	-3%	4%	1%	-3%
	3	先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	86%	88%	2%	5%	5%	0%	8%	7%	-1%
	4	授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	96%	94%	-2%	4%	3%	-1%	0%	3%	3%
	5	先生は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	93%	90%	-3%	6%	6%	0%	2%	4%	2%
保護者	授業について										
	1	本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にしている授業を行っている。	82%	83%	1%	7%	7%	0%	11%	10%	-1%
	2	本校は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している。	66%	79%	13%	13%	10%	-3%	20%	12%	-8%
	3	本校は、子どもが考えたことを話し合ったり発表し合ったりする機会がある。	83%	87%	4%	5%	6%	1%	12%	7%	-5%
	4	本校は、映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている。	77%	82%	5%	10%	8%	-2%	13%	10%	-3%

児童項目②「自分で考える時間が授業にある」が昨年比+6%となり、主体的・対話的な学びが確実に成果を上げている点を高く評価する。また、保護者項目②「黒板の書き方やプリントの工夫」が+13%と大きく改善しており、授業改善の取り組みが家庭側にも伝わり始めていることが読み取られる。今後は、この良い流れをさらに深めるため、授業の工夫や子どもたちの思考のプロセスがより見える形で共有されると、保護者と学校の連携が一層強まると期待する。



「せたがや探究的な学び」を推進し、考える時間・話し合う時間を大切にしている授業づくりを行っている。分かりやすい授業にするために、板書・プリントなどの教材・タブレット活用の工夫も行っており、引き続き学校公開などで保護者の方々にもその様子を見ていただく。また「学ぶことが楽しい」と感じる児童が増えるよう、今後も学ぶ必要を感じられる学習課題提示や、学んだことが生活に生きることを実感できる授業展開を意識していく。

児童	生活について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1	私は、学校のきまりを守って、行動している。	82%	81%	-1%	14%	12%	-2%	3%	8%	5%
	2	学校のきまりを守らない児童に先生は注意している。	88%	87%	-1%	10%	10%	0%	2%	3%	1%
	3	先生に注意されたことは、理解できる。	93%	90%	-3%	6%	8%	2%	1%	3%	2%
保護者	生活について										
	1	本校は、学校での過ごし方やルールについて子どもに考えさせる指導をしている。	78%	80%	2%	9%	9%	0%	13%	11%	-2%
	2	本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している。	83%	85%	2%	10%	8%	-2%	7%	7%	0%
地域	生活について										
	1	通学している子どもたちは、交通ルールなどを守っている。	89%	79%	-10%	8%	17%	9%	4%	4%	0%

児童の生活面に関する評価は概ね安定しており、「注意されたことが理解できる」が90%と非常に高く、学校の指導が子どもたちに適切に受け止められている点を評価する。一方、地域項目「通学している子どもたちは交通ルールを守っている」が昨年比-10%、否定的評価が+9%と大幅に悪化している点は重要な課題である。安全確保は学校・家庭・地域が共に取り組む重要テーマであり、指導の強化や情報共有、見守り体制の連携を進めることで、改善が期待できると考える。



教師の適切な指導と、それを受けとめ改善向上意識をもって行動しようとする児童が多く、保護者の方々も理解を示してくれている実態が数値にも表れており、継続していく。登下校時の交通ルール遵守に関しては課題である。大通りの歩道での自転車との接触、狭い通りでの車との接触など、地域の特性を踏まえた指導を学校全体でも各学級でも行っていく。また、お世話になっている地域の方への感謝とともに、ルールを守らず迷惑をかけることのないようにすることも指導していく。

児童	学校行事(運動会、学芸会・展覧会、宿泊行事など)について	肯定的評価			否定的評価			分からない		
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1 学校行事は楽しい。	93%	92%	-1%	7%	7%	0%	1%	1%	0%
	2 学校行事は達成感がある。	94%	91%	-3%	6%	6%	0%	1%	3%	2%
	3 先生は、児童の意欲を大切にしている。	85%	91%	6%	5%	4%	-1%	10%	5%	-5%
保護者	学校行事(運動会、学芸会・展覧会、宿泊行事など)について									
	1 学校行事は、子どもにとって楽しい。	98%	97%	-1%	1%	2%	1%	2%	1%	-1%
	2 学校行事は、子どもにとって達成感がある。	97%	97%	0%	1%	2%	1%	2%	1%	-1%
	3 本校は、子どもの意欲を大切にしている。	92%	91%	-1%	4%	5%	1%	4%	4%	0%
地域	学校行事(運動会、学芸会・展覧会、宿泊行事など)について									
	1 学校行事の内容は充実している。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2 事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある。	88%	100%	12%	0%	0%	0%	12%	0%	-12%

児童保護者共に、昨年度に引き続き肯定的評価が高い。各行事に取り組む意義等を先生方が児童に上手く伝え、充実した時間を過ごしているとうかがえる。引き続きより良いご指導をお願いしたい。



引き続き、各行事に取り組む意義を児童に伝え、活動を充実させていく。改築工事によって校庭での行事をこれまでと異なった形にしていく必要があり、児童の満足感・達成感が得られるよう計画していく。

児童	キャリア教育について	肯定的評価			否定的評価			分からない		
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1 自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある。	63%	73%	10%	25%	16%	-9%	12%	11%	-1%
	2 目標をもち、その実現に向けて努力している。	82%	84%	2%	12%	13%	1%	6%	3%	-3%
保護者	キャリア教育について									
	1 本校の教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している。	67%	75%	8%	11%	12%	1%	22%	14%	-8%
	2 本校は、子どもの生き方や将来のことについて考える授業をしている。	49%	60%	11%	16%	18%	2%	35%	22%	-13%

例年、肯定的評価が低い傾向にあったが、今年度は全ての項目で肯定的評価が上がった。これは数年かけて校内研究として取り組み、また「なりたい自分になるために」という各教室の掲示やホームページ等で周知徹底を図り続けた成果と思われる。これからも引き続きご尽力をお願いしたい。



校内研究として取り組み続けてきたことが、児童や保護者の方々に伝わり始めている。これまでの取組を砧小の教育に根付かせて、今後、校内研究のテーマが別のものになった際も、キャリア教育は引き続き大切にして実施していく。

児童	先生について	肯定的評価			否定的評価			分からない		
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1 先生たちは、ていねいに指導してくれる。	92%	94%	2%	6%	4%	-2%	3%	2%	-1%
	2 先生たちに相談できる。	78%	79%	1%	16%	14%	-2%	5%	7%	2%

おおむね高い評価を得ており、先生方のご指導に対して厚い信頼が寄せられていることがうかがえる。一方で、「先生に相談できる」という設問については、児童にとってやや答えにくい表現である可能性が考えられる。日常的に先生と気軽に話をしている、「相談」という言葉から具体的にどのような内容を想定すればよいのか、イメージしづらいのかもしれない。そのため、児童が具体的な場面を思い浮かべやすいよう、設問の文言をより分かりやすい表現に見直すことも一案と考えられる。このような点を踏まえつつ、現在得られている良好な評価と信頼関係については、今後も引き続き大切に維持していただきたい。



今後も、分かりやすい授業や児童の話を手際よく聞くこと、頑張りへのフィードバック、休み時間の共遊など、児童との関わりを大切にしていこう。そのことで、普段から気軽に話しかけられる先生であり、信頼し何かあったときには相談できる先生であるようにしていく。次年度から学校評価の仕方や項目・文言が変わる予定もある。児童が何を聞かれているかイメージして答えやすい設問となるよう、文言を吟味する。

児童	全般について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1	学校生活は楽しい。	86%	89%	3%	12%	8%	-4%	2%	3%	1%
	2	学校が好き。	76%	83%	7%	19%	13%	-6%	5%	3%	-2%
	3	私は、家庭で宿題やその他の学習をしている。	65%	84%	19%	20%	14%	-6%	15%	1%	-14%
	4	学び舎の中学校に行ったり、中学生が来たりする機会があることを知っている。	66%	74%	8%	22%	11%	-11%	12%	15%	3%
保護者	全般について										
	1	本校の学校生活は、子どもにとって楽しい。	93%	93%	0%	4%	5%	1%	2%	2%	0%
	2	子どもは、家庭で自主的に学習をしている。	66%	66%	0%	33%	33%	0%	1%	1%	0%
	3	本校は、近隣の幼・小・中学校で構成する「学び舎」による幼・小・中学校連携や交流活動が行われている。	75%	81%	6%	11%	8%	-3%	15%	11%	-4%
	4	本校の教育活動に満足している。	86%	88%	2%	10%	10%	0%	5%	2%	-3%
	5	子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる。	92%	88%	-4%	7%	11%	4%	2%	1%	-1%

設問3については、肯定的な意見が増加し、否定的な意見が減少しているが、これは設問内容がより児童にとって分かりやすい表記となったことによるものと考えられる。

その結果、児童の率直な意見がより反映されるようになった点は、望ましい変化であると言える。また、保護者向けの設問3については設問内容自体を変更していないにもかかわらず評価が向上しており、学び舎の取り組みや方針が徐々に浸透してきていることがうかがえる。

学校に対する満足度は高く、良好な評価が得られていることから、今後も引き続き、この信頼関係を大切にしながら維持していただきたい。

家庭での学習については、文言を変更した。何を聞かれているか児童が理解して回答しやすくなったと思われる。「学校が楽しい」「学校が好き」という児童が多いのは喜ばしく、すべての児童がそう思えることを目指していく。「教育活動に満足している」という保護者が多いことにも感謝し、引き続き理解が得られるようにしていく。校庭が縮小されても遊び・運動の機会が減らないように、屋上・体育館の活用を始めた。砧小独自の健康・体力向上への取組を継続可能とするため、運動タイム（校庭遊びの日はランランラン、屋上・体育館遊びの日は縄跳び）も設定した。

保護者	学校からの情報提供について		肯定的評価			否定的評価			分からない		
			R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)
	1	学校だよりをはじめ様々なお便りのすぐる等による情報提供は、学校の取組を理解するのに役立っている。	89%	96%	7%	9%	3%	-6%	2%	1%	-1%
	2	学校公開や保護者会などは、児童の様子が分かる。	92%	97%	5%	6%	2%	-4%	2%	1%	-1%
	3	ホームページは、学校の様子や取組を理解するのに役立っている。	94%	92%	-2%	3%	5%	2%	3%	3%	0%
地域	学校からの情報提供について										
	1	学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる。	96%	88%	-8%	0%	0%	0%	4%	13%	9%
	3	学校のホームページに、学校からのお知らせや学校生活の様子が分かる情報が掲載されている。	85%	96%	11%	4%	0%	-4%	12%	4%	-8%

全体としておおむね高い評価となっている。情報発信ツールが定着していることにより、保護者に対して適切な情報提供が行われていることがうかがえる。

また、地域に向けた情報発信についても、適切に行われているものと考えられる。今後も引き続き、こうした取り組みを継続していただきたい。

今後も学校だよりや各お便りで学校教育で大切にしていることについてお知らせし、学校公開などで実際に見ていただき、ホームページで日常の様子も伝えていく。そのことで、教育活動への学校・教師の意図が伝わるようにし、それに向き合って生き生きと活動し、成長していく児童の実際の姿が伝わるようにしていく。

保護者	学校運営について	肯定的評価			否定的評価			分からない			
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	
	1	本校は、保護者に理解しやすいように学校の重点目標を伝えている。	88%	92%	4%	6%	7%	1%	7%	2%	-5%
	2	校長をはじめ教職員は、重点目標をもとに、協力して教育活動に取り組んでいる。	92%	92%	0%	2%	3%	1%	5%	5%	0%
	3	本校は、丁寧に指導している。	90%	88%	-2%	5%	7%	2%	5%	5%	0%
	4	本校は、子どものことを相談しやすい。	82%	83%	1%	11%	12%	1%	7%	5%	-2%
地域	学校運営について										
	1	学校の重点目標が明確である。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	地域の意見に対して、学校はていねいに説明・対応している。	96%	96%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%

昨年に引き続き高評価を得ている。学校の重点目標が明確であると認知されているのはとても素晴らしいことであり、今後も丁寧な対応をお願いしたい。



今後も何事にも真剣に全力で取り組み、人とのつながりを大切に生活し成長していくことを児童にも保護者にも地域にも伝えていく。

保護者	家庭と学校の連携について	肯定的評価			否定的評価			分からない			
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	
	1	保護者会・学校公開の日程などが参加しやすい。	90%	83%	-7%	10%	16%	6%	0%	1%	1%
	2	「できることをできるだけ 楽(ラクたの)」のPTAの体制は、参加・協力しやすい。	56%	87%	31%	40%	8%	-32%	4%	4%	0%

設問自体の見直しも含めた効果もあり、PTA体制への評価が大きく改善されていることが読み取れる。新たな学校の運営体制に期待する。



PTAについては、文言変更したので昨年との比較はできないが、現体制が参加しやすいのはありがたく、学校も引き続き協力していく。

保護者	地域との連携について	肯定的評価			否定的評価			分からない			
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	
	1	本校は、地域の人や施設を教育活動に生かしている。	91%	93%	2%	4%	2%	-2%	5%	5%	0%
	2	本校は、地域の活動などに協力的である。	92%	96%	4%	3%	1%	-2%	6%	3%	-3%
地域	地域との連携について										
	1	地域の人や施設を教育活動に活かしている。	96%	96%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%
	2	学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている。	92%	75%	-17%	0%	13%	13%	8%	13%	5%
	3	学校運営委員会は活動を周知し、役割を果たしている。	92%	67%	-25%	4%	17%	13%	4%	17%	13%

地域からの評価が悪化している。丁寧に地域への説明を継続していただきたい。



次年度から学校協議会・学校運営委員会が、学校運営協議会となるため、広報していく。

保護者	学校の安全性について	肯定的評価			否定的評価			分からない			
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	
	1	本校は、安全な学校づくりを進めている。	77%	80%	3%	15%	15%	0%	9%	5%	-4%
	2	本校は、避難訓練やセーフティ教室などで、子どもに安全に関する指導をしている。	93%	93%	0%	3%	2%	-1%	4%	5%	1%
	3	本校は、自然災害時の対応を子どもや保護者に提供している。	80%	84%	4%	10%	9%	-1%	10%	7%	-3%
地域	学校の安全性について										
	1	学校は、安心・安全な学校づくりを進めている。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	学校は、安全性を高めようと地域と協力している。	96%	96%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%

肯定的意見が微増した。特に自然災害時の対応について保護者の「分からない」が減り、肯定的意見が増えたことは喜ばしい。ただ「安全に関して」なので100%をめざして引き続き周知させていただきたい。



安全に関しては、屋上活用のための対策を加えた。自然災害に関しては、地震・火事のみでなく、温暖化に伴う熱中症対策、豪雨の際に安全に登下校するための対策・お知らせなども引き続き充実させていく。

保護者	学校独自項目について	肯定的評価			否定的評価			分からない			
		R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	R6年度(a)	R7年度(b)	(b)-(a)	
	1	本校の教育目標「かしこく やさしく たくましく」はよいと思う。	94%	97%	3%	3%	3%	0%	4%	0%	-4%
	2	本校が地域運営学校として、学校運営委員会とともに活動していることはよいことだと思う。	88%	91%	3%	2%	2%	0%	10%	7%	-3%
	3	本校は心の育成(①我慢する心②自ら見つける心③親切な心)のために自問清掃に取り組んでいることはよいことだと思う。	86%	92%	6%	6%	3%	-3%	8%	6%	-2%
	4	あいさつ運動に取り組んでいることは、コミュニケーション力と社会的マナーを育成するために、効果的である。	95%	97%	2%	2%	1%	-1%	3%	2%	-1%
	5	なかよし班活動やクラス遊びに取り組んでいることは、自己有用感や人間関係形成力の育成に効果的である。	97%	98%	1%	2%	0%	-2%	2%	2%	0%
	6	朝遊び、朝ランニング、外遊びに取り組んでいることは、丈夫な身体作りに励む子の育成に効果的である。	98%	100%	2%	2%	0%	-2%	0%	0%	0%
	7	「砧っ子夏祭り」「石井戸囃子」は、地域と交流できるとてもよい活動である。	94%	96%	2%	3%	3%	0%	3%	1%	-2%
地域	学校独自項目について										
	1	本校の教育目標「かしこく やさしく たくましく」はよいと思う。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	2	本校が地域運営学校として、学校運営委員会とともに活動していることはよいことだと思う。	96%	96%	0%	0%	0%	0%	4%	4%	0%
	3	本校は心の育成(①我慢する心②自ら見つける心③親切な心)のために自問清掃に取り組んでいることはよいことだと思う。	89%	96%	7%	0%	0%	0%	12%	4%	-8%
	4	あいさつ運動に取り組んでいることは、コミュニケーション力と社会的マナーを育成するために、効果的である。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	5	なかよし班活動やクラス遊びに取り組んでいることは、自己有用感や人間関係形成力の育成に効果的である。	92%	96%	4%	0%	0%	0%	8%	4%	-4%
	6	朝遊び、朝ランニング、外遊びに取り組んでいることは、丈夫な身体作りに励む子の育成に効果的である。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%
	7	「砧っ子夏祭り」「石井戸囃子」は、地域と交流できるとてもよい活動である。	96%	100%	4%	0%	0%	0%	4%	0%	-4%

昨年よりさらに高評価を得た。学校の独自項目に理解と好意を感じられる。今後も学校独自の活動を増やして丁寧なご指導をお願いしたい。



砧小独自の取組に高評価をいただけたことはありがたい。この独自の取組の意義やねらい、よさを今後の教員・児童にも引き継いでいく。

(総評)

学校の基本理念や運営方針が功をなし、全体的に評価されていることが確認された。その中でもPTAの運営方針の改善は大きく評価されるポイントであり、一方で地域に対しては学校の運営状況の説明を引き続き丁寧に行うことが望まれる。